

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日				
からふるtoys		2026 年 2 月 10 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	6	療育士同士で密に情報を共有したり、助け合ったりしながら療育を提供することができた。	療育士の休職期間があり、不足していると感じる日があった。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	6	室内に関しては、利用するお子様が過ごしやすいよう構造化に努めている。 2階に上がる外階段が危ないため、都度療育士からヘルプを出せるようにしている。	室内の構造化に関しては、継続して実施していく。 外階段に関しては、常にヘルプを出せる環境を作り出す。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0	日々の清掃を丁寧に行うことを心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0	ケース会議や月に1度のスタッフ会議等で、情報共有を行っている。 また、目標設定や振り返り等も実施することができている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	10	他事業所からの意見や、センターの方からの意見を聞きながら、療育の質の向上に努めている。	基本的には、第三者による外部評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	療育士から受講したい研修を吸い上げ、外部研修等に参加できる体制を整えている。	療育スキルに関する研修や、知識向上に関する研修を、年に6回以上実施している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1	からふるHPIにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	アセスメントシートで、事業所として全体で振り返りを行える環境にしている。 本人支援の5領域に関して、児童発達支援管理責任者を中心に、全体で検討をし、お子様に必要な支援を提供できるよう心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2	チームでの立案、個人で立案→全体へ共有等、多角的に行っている。	プログラムに悩みすぎることが無いよう、児発管、また主任から各療育士へ声掛けをさらにしていくことが必要。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	3	シフト制のため、全員が毎日顔を合わせることができないため、情報共有シート等を活用しながら、必要に応じて適宜打ち合わせを実施している。	毎日必ず実施できていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	5	基本的には、提供記録や情報共有シートで確認や共有を行っている。 またアセスメントシートに記載をし、確認や振り返りがいつでも誰でもできるような状況になっている。	毎日必ず実施できていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	基本的には管理者が児童発達支援管理責任者が参画をしている。 会議前に、担当している療育士と情報のすり合わせを行い、正しい情報を提供できるように努めている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0		移行に向けた支援に関して、より詳細に保護者様にお伝えできるような工夫をしていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	16	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	7	明確に交流の場を設けている訳ではないが、屋外活動時に地域の皆様と交流をすることがある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0	希望者に対して、家族支援を実施している。 また、外部でのペアトレの機会を作成する等もしている。	希望者に対して実施しているにとどまってしまう。 今後は、利用していただいている皆様に満足していただけるような工夫をしていく必要がある。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	10		保護者様からのアンケート結果より、現在は父母の会の開催を望まれている声が少ないため、開催はしていない。 今後、必要に応じて開催を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	月に1度のからふる通信の発行や、Instagramでの投稿を行っている。	発行するだけで終わりではなく、皆様に確認してもらえるような工夫をしていく必要がある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	5		以前行った実績あり。 今後、より地域の皆様との交流を図るため、イベントの検討をしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	各種マニュアル研修を年に1度以上必ず実施し、全体での共有を図っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	5	イベント時に、参加していただく皆様を対象に、アレルギーチェックを実施している。	現状、通常の療育時に食べ物をこちらから提供する機会はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 からふるtoys

公表日 2026 年 2 月 10 日

利用児童数

18名

回収数

12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	0	フィードバックがあるのは強みだと思う。一方で、決まった担当というものがないため、子供への理解が難しくそうではある。 口頭でのフィードバックは有難いがあり覚えてられないのでログ化して振り返られるようにすると障害によっては良いのかもしれない。	細かいニュアンスが伝わりやすい、また保護者様との信頼関係の構築への近道だと考え、口頭でのフィードバックに取り組んでおります。 文字でのフィードバックにも、積極的に取り組んでいきたいと考えております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2	0	0	2 階利用の際は階段かつ滑りやすいため、利用者側が気をつける必要があると思います。	ご不便をおかけして申し訳ございません。都度、スタッフへお声がけいただけますと幸いです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	12	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	1	45分という短時間での利用で不安（併用しているほかの事業所は2時間）で、内容には満足しているが果たしてその時間で成長に繋がっているかというところはあり。4～5歳は60分以上あると良かったかなと思う。	短時間（45分）で、集中して課題をこなせる環境が強みとなっております。療育時間に関しましては、今後利用者の皆様と相談をしながら進めていけたらと考えております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	0	0	先に記載した通り、担当制ではないので良くも悪くも汎用的な内容になっているかもしれない、と感じる（本当に専門的かは分からないので、信じられないのですが）。	担当制ではございませんが、療育後の振り返りや情報共有等、全ての療育士が確認できる状態を作っております。よりお子様の現状に合わせた計画を作成していけるように努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	0	2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	3	4	集団療育の際、他の児童との関わりはありますが、他保育園に訪問する機会はないと思います。	
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	0	4	幼児の間は大変で、関わり方に悩んだり、小学校へ環境が変わる際は親子共に不安も多いため、そういった研修会もあると嬉しいです。	今後、複数人での情報交換の場や子育てに対する勉強会を開催できたらと考えております。 開催時期や時間等は、利用者の皆様へ相談をさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	8	4	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	3	3	0	相談すると色々考えてくださるのでいつも助かってます。	事業所側からも、色々な提案をできるように工夫してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	3	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	3	6	・小さいイベントでも沢山あると子供が喜んでいます。 ・まだそういった物を受けていない	必要に応じて、保護者会や保護者様同士の意見交換の場を設けさせていただけたらと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	1	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	・簡単なクッキングのイベント（流しそうめんやクレープ等）がもう少しあると嬉しいです。 ・通常の支援には満足しています。就学時の相談についてはあまり情報を持っていないのか少し不安がありました。 ・45分だとちょっと短い感じがする	・イベントの内容に関しまして、検討をさせていただきます。 ・就学相談をしていただき、ありがとうございます。情報の少なさから不安を感じるような対応をしてみたい、申し訳ございません。行政や関係機関と連携をより密に取り、皆様が安心できるような情報を提供できるよう精進致します。 ・療育時間や内容に関しまして、再度検討を致します。

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	からふるtoys			
○保護者評価実施期間	2026 年 1 月 4 日		～	2026 年 1 月 18 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 名	(回答者数)	12 名
○従業者評価実施期間	2025 年 12 月 15 日		～	2026 年 1 月 15 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 名	(回答者数)	16 名
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 2 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本的に個別療育で対応しているため、より深くお子様と関り、成長に繋げる支援をすることができる	・お子様の情報を1日単位で共有、確認することができるようになっている。 ・情報共有シート、アセスメントシートの活用。	・より共有がスムーズにいくように、シートの改善を常に行っていく。
2	保護者様のニーズやお子様の現状によって、利用時間や利用方法を柔軟に変更することができる	・就学に向けて、長い時間新しい空間で過ごす練習をしたり、同刻の他児と集団を行ったりと、ニーズに合わせた療育を提供することができる。	・お子様のニーズの把握、保護者様のニーズの把握をより詳細に行う。
3	フィードバックで聞き取りをしたこと、家族支援で出てきた課題等を、療育内容に即座に反映することができる	・情報共有の徹底、情報の見える化。 ・様々なニーズに対応できるように、研修の実施。	・より専門的な支援が可能になるよう、研修の機会を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの確保	休職や退職があると、十分なスタッフの確保が難しい場合がある	・アルバイトの採用や、シフトの調整を行う。 ・スタッフが働きやすい環境を作っていく必要がある。
2	ペアレントトレーニング（家族支援）の充実	・個別に時間を取ることができる枠が限られている。 ・利用者様全体に、家族支援が行き届いていない。	・集団でのペアレントトレーニングの実施。 ・外部との連携。
3	活動スペースの確保	利用者様が増えたことにより、活動スペースの確保が難しくなっている	・スタッフ間でのプログラムや活動スペースの共有をより強化していく。 ・屋外活動の時間を増やす。